

公益財団法人浜松市医療公社第5期（平成29年度）事業報告について

1 事業概要

第5期（平成29年度）は、公益財団法人移行の5年目として地域医療連携の強化と専門外来の充実並びに救急患者・紹介患者の積極的な受け入れを行うための院内体制を強化することにより、患者数の増加を図るとともに、施設基準の新規基準の取得など、経営改善の取り組みを行った。

また、患者支援センターを新たに設置し、外来診療から入院、退院支援までの流れを円滑にし、患者の利便性、満足度の向上を目指すとともに、適切な退院支援を行い在院日数の長期化の改善を図った。

2 主な事業内容

（1）入院に関する業務

平成29年度は、救急患者や紹介患者を断らない受け入れ体制の強化により、28年度入院患者延べ数より1,807人増加の189,013人となったが、29年度計画値は1,079人下回った。

また、7対1入院基本料を維持するため、「重症度、医療・看護必要度」の基準（25%以上）を満たすよう退院支援に向けた取り組みを行い、年間平均27.9%を達成することができた。

項目	平成29年度実績		平成29年度 計画	増減 (29年度-28年度)
	人数等	達成率		
入院患者延べ数	189,013人	99.4%	190,092人	1,807人
1日平均入院患者数	518人	99.4%	521人	5人
病床利用率	86.3%	99.4%	86.8%	0.8P
平均在院日数	14.0日	—	13.7日以下	0.2日

〈前年度と比較して増減のあった主な診療科〉

診療科	平成29年度	平成28年度	増減 (29年度-28年度)
腎臓内科	4,709人	3,476人	1,233人
血液内科	16,068人	14,139人	1,929人
呼吸器内科	24,891人	20,944人	3,947人
感染症内科	5,935人	4,739人	1,196人
血管外科（新設）	1,110人	0人	1,110人
消化器内科	18,126人	20,140人	△2,014人
乳腺外科	1,344人	2,849人	△1,505人
産婦人科	11,255人	12,580人	△1,325人
泌尿器科	4,018人	5,584人	△1,566人

(2) 外来に関する業務

平成 29 年 4 月より、血管外科を開設し血管専門外来の充実を図ったとともに、若手医師の育成や専門医の確保に向けた取り組みを行った。また、病診連携の円滑な推進のために病院案内を診療所等に配布し、医師会の先生方に当院の特色をアピールして幅広く専門的な医療を提供した。その結果、28 年度外来患者延べ数より 3,324 人増加の 235,099 人となり、29 年度計画値を 2,079 人上回った。

項目	平成 29 年度実績		平成 29 年度 計画	増減 (29 年度-28 年度)
	人数等	達成率		
外来患者延べ数	235,099 人	100.9%	233,020 人	3,324 人
1 日平均外来患者数	964 人	100.9%	955 人	10 人

〈前年と比較して増減のあった主な診療科〉

診療科	平成 29 年度	平成 28 年度	増減 (29 年度-28 年度)
循環器内科	16,826 人	15,156 人	1,670 人
内分泌・代謝内科	14,299 人	13,316 人	983 人
小児科	16,927 人	16,074 人	853 人
血管外科	1,187 人	0 人	1,187 人
皮膚科	5,759 人	3,794 人	1,965 人
消化器内科	18,860 人	20,080 人	△1,220 人
歯科口腔外科	10,400 人	11,229 人	△829 人

(3) 救急医療に関する業務

夜間救急など一次救急医療を担当する関係医療機関との連携を図り、二次救急医療及び三次救急医療の提供体制を維持するとともに、24 時間 365 日断らない救急医療を目指し院内体制を整備した結果、28 年度救急搬送受入患者数より 310 人増加の 6,591 人となり 29 年度計画値を 496 人上回った。

また、救命救急センターの効率的な病床管理により、救命救急センターの新入院患者数は 28 年度より 142 人増加の 1,363 人となった。

項目	平成 29 年度実績		平成 29 年度 計画	増減 (29 年度-28 年度)
	人数等	達成率		
救急搬送受入患者数	6,591 人	108.1%	6,095 人	310 人

(4) 周産期医療に関する業務

地域の周産期医療を担う拠点病院として、積極的に受け入れを行ったが、浜松市出生数の減少の影響もあり、28年度分娩件数より137件減少の1,052件となり、29年度計画値も同様に173件下回った。

項目	平成29年度実績		平成29年度 計画	増減 (29年度-28年度)
	人数等	達成率		
分娩件数	1,052件	85.9%	1,225件	△173件

(5) がん診療に関する業務

地域がん診療連携拠点病院として、手術・リニアック（放射線治療）などによる質の高い診断・治療の提供、外来化学療法室を活用したがん診療を実施するとともに、乳がんの乳房全摘手術後のインプラントによる乳房再建術やIMRT（強度変調放射線治療）を積極的に行った。

また、がん患者支援の充実のために、市内がん診療連携拠点病院4病院共同で、行政や企業主と連携し、がん患者就労対象者の相談支援の推進を図るとともに、今年度8月よりハローワーク浜松の就労支援ナビゲーターと連携し就職支援の相談会を開催した。

項目	平成29年度実績		平成29年度 計画	増減 (29年度-28年度)	
	人数等	達成率			
院内がん登録数（29年度報告数）	1,168人	106.2%	1,100人	68件	
悪性腫瘍の手術件数	504件	77.5%	650件	△146件	
がんに係る化学療法延べ患者数	1,022人	92.9%	1,100人	△78人	
がんに係る放射線治療延べ患者数	194人	60.6%	320人	△126人	
乳房全摘手術後のインプラント乳房再建術	19件	111.8%	17件	△2件	
消化管ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）	39件	70.9%	55件	0件	
IMRT（強度変調放射線治療）件数	前立腺がん	17件	68.0%	25件	8件
	前立腺がん以外	0件	0.0%	5件	△5件

(6) 脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病診療等の専門医療に関する業務

手術件数は5,523件（対前年度比342人減）と計画値を477人下回ったが、全身麻酔件数は、28年度より109件増加した。

また、安全かつ有効な心房細動に対するアブレーション治療として、クライオバルーンアブレーション（冷凍焼灼術）を導入し、積極的な経皮的カテーテル心筋焼灼術を行った結果、28年度実績及び29年度計画値を上回った。

項目	平成29年度実績		平成29年度 計画	増減 (29年度-28年度)
	人数等	達成率		
手術件数（手術室）	5,523件	92.1%	6,000件	△477件
腹部大動脈瘤に対するステントグラフト手術	22件	70.0%	30件	4件
経皮的カテーテル心筋焼灼術	149件	149.0%	100件	3件
経尿道的尿路結石除去術	30件	120.0%	25件	18件

(7) 臓器・骨髄移植に関する医療

新基準による骨髄認定移植施設の取得を目指し、骨髄移植施設日本造血細胞移植学会認定造血細胞移植コーディネーターの育成を行うため、資格支援を図った。

また、臓器移植コーディネーターと連携し、院内に臓器提供チームが編成され、今年度1月、2月の2ヶ月間で3例の臓器提供を行い、生前の患者本人、家族の意思を生かして移植医療に貢献した。

(8) 健診に関する業務

メタボリックシンドロームの予防に重点をおいた生活習慣病の予防のため、特定健康診査（特定健診）・特定保健指導を実施するとともに、高齢化・生活習慣病の増加を踏まえ一般健診、がん検診及び人間ドックの受け入れを実施し、疾患の予防、早期発見を推進した。

また、子育て、介護、仕事、家事などで多忙な女性が、休日の日曜日に乳がん検診を受けられるジャパン・マンモグラフィーサンデー（10月第3日曜日）への参加や土曜日の乳がん検診を実施した。

項目	平成 29 年度実績		平成 29 年度 計画	増減 (29 年度-28 年度)
	人数等	達成率		
特定健診	15,952 人	100.5%	15,870 人	△17 人
胃がん検診	7,765 人	95.9%	8,100 人	△317 人
大腸がん検診	10,933 人	97.5%	11,210 人	△153 人
結核肺がん検診	15,484 人	99.3%	15,590 人	△209 人
子宮がん検診	3,482 人	97.5%	3,570 人	△72 人
乳がん検診	2,539 人	100.8%	2,520 人	92 人

(9) 地域連携に関する業務

定期的に関業医・診療所を訪問し、当院の特徴、新規治療の紹介、新規医師の着任紹介などを行い、当院の診療機能の広報を図り、医療連携体制の強化並びに患者の確保に努めた。また、病棟リンクナースと退院支援職員が連携し、地域の医療機関などと調整を行い退院支援の充実を図った。

項目	平成 29 年度実績		平成 29 年度 計画	増減 (29 年度-28 年度)
	人数等	達成率		
紹介率	78.0%	97.5%	80.0%以上	△0.6P
逆紹介率	66.2%	94.6%	70.0%以上	△4.1P
退院支援加算算定数	2,448 件	272.0%	900 件	1,543 件

(10) 臨床研究に関する業務

日本医療研究開発機構（AMED）やJALSG（造血器研究グループ）など臨床研究事業への参加・症例登録などの推進を図り、地域治験ネットワーク（静岡県、とおとうみ）への継続的な参加など治験実施件数の増加や臨床研究の促進のため、治験・臨床試験に係る医師の負担軽減を図り、治験を受託しやすい環境を整え、新規治験受託件数の増加に努めた。

(11) 医療安全、医療の質の向上に関する業務

①医療安全推進委員会を月1回開催し、院内で発生した有害事例や警鐘的事例について分析、改善策を検討し現場に周知を行った。また、医療安全ラウンドや調査により、改善策の実施状況や手順の遵守状況の評価を行い現場にフィードバックし、継続した医療安全活動を行った。今年度は『患者誤認防止対策』を重点事項とし防止策の強化、現場への周知、安全ラウンドによる評価を繰り返し実施した。

②安全文化の基本となる『報告制度』のさらなる推進のため、今年度6月から、治療の合併症報告を含む『オカレンス報告制度』を開始し、医師からの報告を徹底させた。

③医療安全管理体制の推進として、『高リスク手術・処置を行う際の院内体制』を開始し、高リスクの患者に対し安全な医療の提供を行える体制を整備した。

④院内で発生した有害事例に対しては、有害事例調査を行い、医学的検証、再発防止策の検討を行った。また、報告事例に対しては、M&Mカンファレンス、事例検証会、倫理的観点などから多職種で検討を行い、医療の質の向上を図った。

⑤外部評価を活用し医療の質を高める取り組みとして、第三者評価にて、当院の改善点を明確にするための病院機能評価(3rdG:Ver. 1.1)を受審した。

(12) 医療スタッフの確保・育成に関する業務

「救急医療」「がん医療」「高度専門医療」等の水準を維持・向上させるため、大学等関係機関との連携の強化や教育研修の充実により、医師の育成、確保に努めるとともに、必要な看護師の確保のため、看護師等修学交付金制度の実施、合同就職説明会及び学校説明会への積極的な参加や各看護師養成施設への学校訪問など広報活動を実施した。

また、看護学生臨地実習受け入れ校の拡大やインターンシップ、病院見学会及び高校生1日ナース体験事業等における開催内容の充実を図り、看護師確保の強化に努めた。

(13) 患者の療養環境の向上に関する業務

今年度4月から、患者支援センターを開設し、退院支援加算1の上位施設基準の取得を行い、病棟リンクナースと退院支援職員が連携して退院支援の充実を図った。

また、今年度11月から、2号館9階病棟と3号館9階病棟の病棟を統合し、ひとつの病棟として運用を開始することで、2号館9階病棟の6人部屋を4人部屋に変更し、患者や医療者にとって快適な療養環境となり、病棟リハビリテーションを強化した。

(14) 収入の確保と費用の節減に関する業務

①収入の確保

施設基準の取得

診療収入の増収策として、看護職員夜間配置加算の新規施設基準の取得、退院支援加算の上位基準の取得などを行い、35,000千円の収入確保を図った。

患者数の増加

救急、紹介患者を断らない受け入れ体制の強化及び整備により、救命救急センターの入院患者が増加した結果、28年度より救命救急入院料収入が34,150千円の増収となった。

②費用の節減

材料費の削減

医薬品や診療材料の調達に関しては、SPD調達等物流管理業務の委託方式を見直すことにより、購入価格を約25,000千円削減した。さらに、昨年度に導入したベンチマークシステムを活用し価格交渉の徹底を図った。

委託費の削減

医療機器補償サービスを活用し、大型医療機器の保守・メンテナンス費用の見直しを図り、委託費4,500千円を削減した。

後発医薬品採用率の向上

薬事委員会を中心に可能な薬品を順次、後発品への切り替えの推進を図った。

項目		平成 29 年度実績	平成 29 年度計画	増減 (29 年度-28 年度)
給与費対医業収益率 ※1		51.2%	52.1%以下	△0.9P
材料費対医業収益率		25.7%	24.7%以下	0.9P
主な内訳	薬品費	15.1%	14.7%以下	0.5P
	診療材料費	9.7%	9.2%以下	0.2P
後発品採用率	採用品目ベース	15.2%	—	0.2P
	後発医薬品指数 ※2	87.9%	—	3.4P

※1 給与費は、退職給付引当金の会計基準変更時差異分を除く

※2 後発医薬品指数=後発医薬品の数量/(後発医薬品のある先発品の数量+後発医薬品の数量)

(15) 新病院建設に関する業務

実施設計を見据えて、病院幹部と各部門の長とレイアウト調整を行い、意見及び要望を反映した基本設計の作成に取り組んだ。

また、浜松医大との教育・連携施設の場所として、当院の渡り廊下棟を活用することになり、担当医師等とプロジェクトを立ち上げ、機能及び運用を協議し基本設計の追加作成を行った。

(16) 医療と介護の連携推進事業の支援に関する業務

医療と介護の連携推進事業を支援するとともに、地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携強化に努めた。

3 役員会開催実績

(1) 評議員会

① 第1回定時評議員会

日 時	平成29年6月30日（金）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none">・公益財団法人浜松市医療公社第4期（平成28年度）事業報告について・公益財団法人浜松市医療公社第4期（平成28年度）決算について・公益財団法人浜松市医療公社理事の選任について・公益財団法人浜松市医療公社監事の選任について・公益財団法人浜松市医療公社評議員の選任について

② 第1回臨時評議員会

日 時	平成30年3月20日（火）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none">・第5期（平成29年度）公益財団法人浜松市医療公社補正予算（第1号）・平成30年度浜松医療センターの管理に関する年度協定書の締結について・第6期（平成30年度）公益財団法人浜松市医療公社事業計画について・第6期（平成30年度）公益財団法人浜松市医療公社収支予算・公益財団法人浜松市医療公社理事の辞任に伴う補欠選任について・公益財団法人浜松市医療公社定款の一部変更について

(2) 理事会

① 第1回臨時理事会（決議の省略）

日 時	平成29年4月1日（土）
議事等	<ul style="list-style-type: none">・公益財団法人浜松市医療公社副理事長の選定について・公益財団法人浜松市医療公社常務理事の選定について・公益財団法人浜松市医療公社財産管理責任者の任命について・公益財団法人浜松市医療公社資金運用執行責任者の任命について

② 第1回定例理事会

日 時	平成29年6月15日（木）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none">・公益財団法人浜松市医療公社定時評議員会の招集について・公益財団法人浜松市医療公社第4期（平成28年度）事業報告（案）について・公益財団法人浜松市医療公社第4期（平成28年度）決算（案）について・公益財団法人浜松市医療公社理事の任期満了に伴う候補者の推薦について・公益財団法人浜松市医療公社監事の任期満了に伴う候補者の推薦について・公益財団法人浜松市医療公社評議員の任期満了に伴う候補者の推薦について・公益財団法人浜松市医療公社理事の職務分担を定める規程の一部改正について・浜松医療センター院長の職務を代理する院長補佐の順序等及び院長補佐の事務分担を定める規則の一部改正について・浜松医療センター副院長の事務分担を定める規則の一部改正について

③ 第2回臨時理事会

日 時	平成29年6月30日（金）午後4時00分
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人浜松市医療公社理事長の選定について ・公益財団法人浜松市医療公社副理事長の選定について ・公益財団法人浜松市医療公社常務理事の選定について ・公益財団法人浜松市医療公社財産管理責任者の任命について ・公益財団法人浜松市医療公社資金運用執行責任者の任命について

④ 第2回定例理事会

日 時	平成29年9月15日（金）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人浜松市医療公社特定業務職員に関する規程の一部改正について ・公益財団法人浜松市医療公社職員給与規程施行規則の一部改正について

⑤ 第3回定例理事会

日 時	平成29年12月15日（金）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人浜松市医療公社職員給与規程の一部改正について ・浜松医療センターあゆみ保育園運営規程の一部改正について ・浜松医療センター寄附金基金規程の制定について ・公益財団法人浜松市医療公社理事会運営規則の一部改正について

⑥ 第4回定例理事会

日 時	平成30年3月6日（火）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人浜松市医療公社第1回臨時評議員会の招集について ・第5期（平成29年度）公益財団法人浜松市医療公社補正予算（第1号） ・第6期（平成30年度）公益財団法人浜松市医療公社事業計画について ・第6期（平成30年度）公益財団法人浜松市医療公社収支予算 ・平成30年度公益財団法人浜松市医療公社資金運用の執行方針及び計画について ・公益財団法人浜松市医療公社理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について ・公益財団法人浜松市医療公社定款の一部変更について ・浜松医療センター組織規程の一部改正について ・公益財団法人浜松市医療公社事務局組織規程の一部改正について ・公益財団法人浜松市医療公社事務分掌規則の一部改正について ・公益財団法人浜松市医療公社専決規則の一部改正について ・公益財団法人浜松市医療公社職員給与規程の一部改正について ・公益財団法人浜松市医療公社職員給与規程施行規則の一部改正について ・浜松医療センター院長の職務を代理する院長補佐の順序等及び院長補佐の事務分担を定める規則の一部改正について ・浜松医療センター副院長の事務分担を定める規則の一部改正について

	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人浜松市医療公社継続雇用職員に関する規程の一部改正について ・公益財団法人浜松市医療公社無期雇用転換職員規則の制定について ・公益財団法人浜松市医療公社臨時職員規則の一部改正について ・平成30年度浜松医療センターの管理に関する年度協定書の締結について
--	---

4 役員等に関する事項

(1) 理事（平成30年3月31日現在）

役職	氏名	現職等
理事長	山下 堅司	公益財団法人浜松市医療公社理事長
副理事長	海野 直樹	浜松医療センター院長
常務理事	小澤 享史	浜松医療センター院長補佐
常務理事	初木 茂	浜松医療センター院長補佐
常務理事	鈴木 達夫	公益財団法人浜松市医療公社事務局長
理事	山本 清二	国立大学法人浜松医科大学理事・副学長
理事	野口 泰之	一般社団法人浜松市医師会副会長
理事	小杉 和弘	浜松商工会議所専務理事
理事	鈴木 貴	医療法人社団一穂会理事
理事	渡瀬 充雄	浜松市健康福祉部医療担当部長

(2) 評議員（平成30年3月31日現在）

役職	氏名	現職等
評議員	滝浪 實	一般社団法人浜松市医師会会長
評議員	大野 守弘	一般社団法人浜松市歯科医師会会長
評議員	品川 彰彦	一般社団法人浜松市薬剤師会会長
評議員	鈴木 敏弘	弁護士
評議員	藤田 正治	浜松商工会議所副会頭
評議員	内藤 伸二郎	浜松市健康福祉部長
評議員	西原 信彦	浜松市保健所長

(3) 監事及び会計監査人（平成30年3月31日現在）

役職	氏名	現職等
監事	田中 範雄	公認会計士・税理士
監事	島野 哲幸	浜松市会計管理者
会計監査人	疋田 通丈	公認会計士・税理士

5 職員に関する事項

<職種別職員数：前年度比較>

職種	平成 29 年度末	平成 28 年度末	比較増減
医師	102 人	101 人	1
専修医	34 人	27 人	7
臨床研修医	16 人	23 人	△7
保健師	37 人	36 人	1
助産師	54 人	54 人	0
看護師	461 人	461 人	0
薬剤師	30 人	29 人	1
診療放射線技師	26 人	26 人	0
臨床検査技師	34 人	33 人	1
臨床工学技士	10 人	9 人	1
管理栄養士	7 人	8 人	△1
理学療法士	12 人	11 人	1
作業療法士	7 人	8 人	△1
言語聴覚士	2 人	2 人	0
臨床心理士	1 人	1 人	0
視能訓練士	2 人	2 人	0
歯科衛生士	2 人	2 人	0
医学写真技師	0 人	0 人	0
診療情報管理士	3 人	3 人	0
事務員	59 人	59 人	0
医療社会事業士	8 人	6 人	2
保育士	10 人	8 人	2
電気技師	1 人	1 人	0
業務員	7 人	9 人	△2
合 計	925 人	919 人	6 人

6 労働関係法令について

労働関係法令に基づき、適正に業務を履行しました。